

## プレスリリース用

私ども全国認定こども園協会は、子ども・子育て支援新制度に関する満足度調査を実施し、その結果（概要）をとりまとめました。新制度が導入されてから1年が過ぎ、認定こども園も4000園を超え、新制度の浸透度がどこまで進み、どの程度の満足度があるか注目されましたが、満足度は高い結果となっています。その一方で、評価しない理由としては、保護者が「保育料の負担増」で、設置者は「事務量の負担」が挙げられました。

### 【調査の概要】

- ◎名称 『認定こども園の満足度調査アンケート』
- ◎調査期間 平成28年2月上旬～3月上旬
- ◎調査対象 ①認定こども園を利用している保護者（回答:3,806人）  
②認定こども園を運営する設置者・園長（回答:355園／2,836園）

### 【主な結果】

#### ◆全体

- ・新制度の保護者認知度は**56%**。新制度の評価は保護者・設置者ともに**80%以上**。
- ・新制度が**待機児童解消**につながっているという実感は設置者には希薄

#### ◆保護者

- ・約**56%**が「子ども・子育て新制度」を知っている、約**80%**が「園が認定こども園になったこと」を評価する。
- ・認定こども園になったことの評価理由は、**園活動の充実、給食の提供、保育時間選択の柔軟性**が上位。
- ・保育料は家庭によって増加、減少が見受けられ、認定こども園を評価する理由にも、しない理由にもなっている。

#### ◆設置者

- ・全体の**9割以上**が「認定こども園に移行して」良かった。
- ・良かったとする主な理由は、「**就労の有無にかかわらない受入**」「**(行政からの) 財政支援**」。
- ・その一方で、ほとんどの認定こども園が「**事務負担量は増えた**」としている。

#### ◆その他

- ・クラスを1号認定こどもと2号認定こどもを分離した編制にするなど制度の**間違った運用**も見受けられ、制度理解への徹底も行う必要がある。
- ・午睡の実施方法に様々な形態が見られる。今後、どのような午睡が子どもにとって一番いいか、議論されるべき。

### 【今後の検討課題】

当協会は、このアンケート結果を受け、すべての子どもの最善の利益を目指して、認定こども園のより良い在り方(午睡・保護者会や有料クラブ等)を模索・検討していき、新制度・認定こども園の情報発信に努めていきます。

詳しくはホームページをご覧ください。

※このリリースに関するお問い合わせは、全国認定こども園協会 事務局 TEL048-993-3711